

安全データシート

ページ: 1/17

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 26. 03. 2025

製品: Na-Methylate Crystals

バージョン: 15.0

(30036694/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 07.10.2025

1. 化学品及び会社情報

品名:

Na-Methylate Crystals

用途: 工業化学物質

推奨用途: 化学合成用原料, プロセスケミカル

供給者の会社情報、住所及び電話番号:

BASFジャパン株式会社

東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号

OVOL 日本橋ビル 3階

電話番号: +81-3-5290-3000

Eメールアドレス: Japan-SDS-Info@basf.com

緊急連絡先:

電話番号: 03-6634-2245

+49 180 2273-112 (International emergency number)

2. 危険有害性の要約

【化学品のGHS分類】:

可燃性固体: 区分1

自己発熱性化学品および混合物: 区分1

急性毒性: 区分4 (経口)

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性: 区分1

皮膚腐食性/刺激性: 区分1B

【GHSラベル要素】:

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:

危険

危険有害性情報:

H228	可燃性固体。
H251	自己発熱：火災のおそれ。
H302	飲み込むと有害。
H314	重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。

注意書き（安全対策）:

P210	熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P280	保護手袋と保護衣と保護眼鏡または保護面を着用すること。
P260	粉じん/ガス/ミスト/蒸気を吸入しないこと。
P241	防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。
P235	涼しいところに置くこと。
P240	容器を接地しアースをとること。
P270	この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
P264	取扱い後は汚染された体の部分をよく洗うこと。

注意書き（応急措置）:

P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P310	直ちに医師に連絡すること。
P303 + P361 + P353	皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣服をすべて取り除くか脱ぐこと。皮膚を水またはシャワーで洗い流すこと。
P304 + P340	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P301 + P330 + P331	飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
P363	汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
P370 + P378	火災の場合：消火するために…を使用すること。

注意書き（保管）:

P405	施錠して保管すること。
P407	積荷やパレット間に隙間をあけること。
P420	離して保管すること。
P413	1000kg以上の大量品は、25℃以下の温度で保管すること。

注意書き（廃棄）:

P501	適切に分別した内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に廃棄を委託すること。
------	---

GHS分類に関係しない又は GHSで扱われない他の危険有害性:

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 26. 03. 2025

製品: Na-Methylate Crystals

バージョン: 15.0

(30036694/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 07.10.2025

この項に、有効な情報の記載がある場合、それは、GHS分類の結果ではなく、物質もしくは混合物の総合的な危険性に寄与する可能性があるGHS分類以外の危険性に関するものである。
細かく分散されると自己発火の恐れあり。

水と激しく反応する。

3. 組成及び成分情報

化学特性

化学物質・混合物の区別: 単一製品

ソジウムメチラート (含有量 (W/W): 100 %)

CAS番号: 124-41-4

化審法: (2)-203

労働安全衛生法: (2)-203

GHS分類に寄与する成分

メタノール

含有量 (W/W): $\geq 0.3\%$ - $< 1\%$

CAS番号: 67-56-1

化審法: (2)-201

労働安全衛生法: (2)-201

引火性液体: 区分 2

急性毒性: 区分 3 (吸入-蒸気)

急性毒性: 区分 3 (経口)

急性毒性: 区分 3 (経皮)

特定標的臓器毒性 (単回暴露) (中枢神経系, 視神経): 区分 1

4. 応急措置

[応急措置をする者の保護に必要な注意事項]:

救急隊員は自身の安全に注意を払うこと。患者が意識を失いそうになったら、横向き (回復体位) で安静に寝かせ、搬送する。汚れた衣服は直ちに置き替える。

[吸入した場合]:

安静にし、新鮮な空気のある場所に移動させ、医師の診察を受けること。直ちにコルチコステロイドエアゾール製剤を吸入すること。

[皮膚に付着した場合]:

直ちに水で十分に洗い流した後無菌包帯を巻き、医師の診察を受ける。

[眼に入った場合]:

直ちにまぶたを開き流水で15分以上洗い流した後、眼科医の診察を受ける。

[飲み込んだ場合]:

直ちに口をすすぎ200 – 300 mlの水を飲ませた後、無理に吐かせたりせず医師の診断を受ける。 50 mlの純エタノールを飲用可能な濃度で飲むこと。 医師の診察を受けること。

[医師に対する特別な注意事項]:

症状: 皮膚に対する腐食性, 眼の刺激性, 更なる症状の可能性がある。

危険有害事項: 意図された用途と適切な取り扱いをすれば、危険性はないと考えられる。

処置: 症状に応じて処置(洗浄・機能回復)を講じる。特に解毒剤なし。

5. 火災時の措置

[適切な消火剤]:

粉末, 乾燥砂, 耐アルコール性泡

[使ってはならない消火剤]:

水, 二酸化炭素

[火災時の特有の危険有害性]:

水と激しく反応する。製品安全データシートの第7項の取り扱い及び保管上の注意を参照すること。

[火災時の特有の危険有害性]:

酸化ナトリウム, 有機蒸気, 腐食性ガス/蒸気, 炭素酸化物

フューム/霧の発生 火災の場合、前述の物質/物質グループが放出される可能性がある。

[消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置]:

自給式呼吸器および耐薬品性保護衣を着用すること。

[追加情報]:

汚染された消火用水を別途回収すること。下水または廃水処理施設に流さないこと。汚染された消火廃水は法令に従って適切に処分する。

6. 漏出時の措置

[人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置]:

皮膚、眼、衣服への接触を避ける。蒸気/粉塵/エアゾールに暴露される場合は、呼吸保護具を着用すること。保護具を着用する。

[環境に対する注意事項]:

土壌、水路、または排水溝に流さないこと。

[封じ込め及び浄化の方法及び機材]:

少量の場合: 掃き集めるかすくい取る。回収した製品を直ちに処分すること。

大量の場合: 掃き集めるかすくい取る。回収した製品を直ちに処分すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

[取扱い]

作業場の換気を十分に行う。換気装置なしに大量に取り扱う場合は呼吸保護具を着用する。湿気を避ける。空気との接触を避ける。直射日光を避ける。保護的な環境で取り扱うこと。

安全取扱注意事項:

静電気放電に対する予防措置を講ずること。着火源を近づけない。消火器常備のこと。粉塵を発生させない。

[保管]

酸および酸を生成する物質から離しておくこと。

適切な包装容器材料: 低密度ポリエチレン (LDPE), ステンレス鋼 1.4301, ステンレス鋼 1.4401, ガラス, 高密度ポリエチレン (HDPE), カーボンスチール(鉄), ステンレス鋼 1.4541, ステンレス鋼 1.4571, アルキド樹脂ラッカー441

保管条件に関する追加情報: 容器は密閉して乾燥した換気の良い冷暗所に保管する。窒素ガス雰囲気

で保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

記載の物質は、大気中の湿気の影響下で徐々に分解した結果である。

メタノール, 67-56-1;

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 200 ppm (ACGIHTLV)

STEL (short term exposure limit : 短時間 250 ppm (ACGIHTLV)

TLV (threshold limit value : 管理濃度) 200 ppm (労働安全衛生法 (JP))

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 260 mg/m³ ; 200 ppm (日本産業衛生学会 許容濃度)

経皮吸収の表示 (日本産業衛生学会 許容濃度)

本物質は皮膚を通して吸収される。

経皮吸収の表示 (ACGIHTLV)

経皮吸収の危険性

経皮吸収の表示 (ACGIHTLV)

経皮吸収の危険性

水酸化ナトリウム, 1310-73-2;

CLV (ceiling limit value : 上限値) 2 mg/m³ (ACGIHTLV)CLV (ceiling limit value : 上限値) 2 mg/m³ (日本産業衛生学会 許容濃度)

【保護具】

[呼吸用保護具]:

もしエアゾール/粉塵が発生した場合、呼吸保護具を着用すること。固体および液体微粒子に対して中性能粒子フィルター（例：EN 143または149、タイプP2またはFFP2）

[手の保護具]:

長手袋使用のこと。

長時間の直接接触でも問題ない素材（保護指針6に準ずることが望ましい。EN ISO 374-1によると、透過時間は480分以上であること。）：

ブチルゴム（ブチル）、肉厚0.7 mm

フッ素ゴム（FKM）、肉厚0.7 mm

補足：仕様は、試験、文献データ及び手袋製造業者の情報に基づくもの、あるいは類似の物質から類推されたものである。条件が多いため（温度など）、耐薬品性保護手袋の実際の使用時間は試験で別途得られた物質透過時間よりもかなり短いと考えなければならない。

種類が多岐にわたるため、製造業者が指示した方法を遵守すること。

[眼の保護具]:

ゴーグル型保護メガネ（ケージゴーグル）（EN 166準拠）および保護面

[皮膚及び身体の保護具]:

作業および予想暴露量に基づいて、保護具を選択すること。前掛け、保護靴、耐薬品性保護衣等（飛散の場合は、EN 14605に従い、粉塵の場合は、EN ISO 13982に従う。）。

[一般的な安全及び衛生対策]:

皮膚、眼、衣服への接触を避ける。粉塵を吸入しないこと。労働安全衛生に関する実施基準に従い、取り扱うこと。粉塵を吸入しない。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態:	粉末, 結晶状	
色:	無色	
臭い:	無臭	
臭いのしきい値:	吸入による健康障害の可能性のために決められていない。	
pH:	12.8 (10 g/l, 20 °C)	
	文献データ	
pKA:	15.17 (20 °C)	(算出)
融点（分解）:	> 350 °C 物質が分解するため、測定不能。	(EU指令 92/69/EEC, A. 1)

沸点:	> 350 ° C (1, 013. 25 hPa) 物質が分解するため、測定不能。	(EU指令 92/69/EEC, A. 2)
引火点:	該当しない、製品は固体である。	
蒸発率:	この製品は、不揮発性固体である。	
可燃性 (固体/ガス):	可燃性固体。	(EU指令 84/449/EEC, A. 10)
爆発下限界:	分類と表示に関係しない固体用に関するものである。	
爆発上限界:	分類と表示に関係しない固体用に関するものである。	
熱分解:	> 280 ° C 安定貯蔵温度を超えると熱分解が起こる可能性がある。表示の値は、不活性ガス雰囲気に関するものである。	(DTA (differential thermal analysis : 示差)
自己発火性:	> 50 ° C 空気に曝されると自然発火する危険性がある。 自己発火性なし。	(VDI 2263, sheet 1, 1. 4. 1) 試験の種類: 室温において自然発生する自己発火性。
	温度: > 25 - < 50 ° C 圧力: 1, 013 hPa 特定温度まで自己発火は観察されなかった。	試験の種類: 高温で自己発火する (測定方法: EU指令 92/69/EEC, A. 16)
自己発熱性:	自然発熱の可能性のある物質である。	
爆発危険有害事項:	化学構造に基づき、爆発性の性質を示すものはない。	
火災を引き起こす性質:	火災伝播性はない。	
蒸気圧:	< 0. 000001 hPa (25 ° C)	(算出)
密度:	1. 3 g/cm ³ (20 ° C) 文献データ	
相対密度:	データなし。	
嵩密度:	500 - 600 kg/m ³ (< 40 ° C)	(DIN 53466)

相対ガス密度（空気）:

この製品は、不揮発性固体である。

水に対する溶解性:

試験は、科学的に正当化されていない。

湿度測定:

吸湿性

溶解度（定性的） 溶媒:

アルコール類

可溶

n - オクタノール/水分配係数（log Pow）: -0.72

(算出)

(25 ° C; pH: < 13)

記載物質に関する情報: メタノール

n - オクタノール/水分配係数（log Pow）: -0.77

(測定)

(20 ° C)

文献データ

吸着/水-土壌:

KOC: 1

(算出)

製品は未試験である。記述は、加水分解生成物の特性によるものである。

表面張力:

化学構造に基づき、表面活性はないと考えられる。

粘度:

技術的に本試験を実際に行う事は出来ない。

技術的に本試験を実際に行う事は出来ない。

動粘性率:

技術的に本試験を実際に行う事は出来ない。

粒子特性

粒度分布:

3.6 µm

(D10, ISO 13320-1)

135.7 µm

(D90, ISO 13320-1)

69.9 µm

(D50, ISO 13320-1)

粒度分布:

微粒子 -

10. 安定性及び反応性

[避けるべき条件]:

あらゆる着火源（熱、スパーク、裸火など）を近づけない。湿気を避けること。静電気防止措置をとる。加熱を避ける。

熱分解:

> 280 ° C (DTA (differential thermal analysis : 示差))

安定貯蔵温度を超えると熱分解が起こる可能性がある。表示の値は、不活性ガス雰囲気に関するものである。

熱分解: > 50 ° C (VDI 2263, sheet 1, 1.4.1)
空気に曝されると自然発火する危険性がある。

[混触危険物質]:

水, 酸

金属の腐食: 水や湿気の存在中で、金属を腐食する。

[危険有害な分解生成物]:

発熱反応。水および酸と反応する。活性塩素を含有する物質と反応する。微粉末が蓄積すると、空気中では粉塵爆発の危険性が生じることがある。空気の下で自己発熱の可能性はある。

[危険分解物]:

メタノール, 水酸化ナトリウム

反応性:

指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。

11. 有害性情報

ばく露経路

急性経口毒性

実験または計算によるデータ:

LD50 (半数致死量) ラット (経口): 1, 687 mg/kg (OECDテストガイドライン401)

水溶液で試験した。

急性吸入毒性

(吸入による):試験の実施は、必要ない。

急性皮膚毒性

LD50 (半数致死量) ラット (経皮): > 2, 000 mg/kg (BASF試験)

死亡なし 水溶液で試験した。

急性毒性の評価

単回摂取後、中程度の毒性を示す。本品の毒性は、その腐食性に基いている。

記載物質に関する情報: メタノール

急性毒性の評価

単回摂取後、高毒性。短期間の吸入後、高毒性。短期間の皮膚接触後、高毒性。

症状

皮膚に対する腐食性 眼の刺激性 更なる症状の可能性はある。

刺激性

刺激性作用の評価:

腐食性。皮膚及び眼を損傷する。

実験または計算によるデータ:

皮膚腐食性／刺激性 ウサギ: 腐食性 (OECDテストガイドライン404に類似)

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 ウサギ: 回復不可能な損傷 (BASF試験)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

感作性の評価:

この物質は、腐食性であるので、感作性試験は、不可能である。化学構造は感作作用を示唆していない。

生殖細胞変異原性

変異原性の評価:

細菌類に対して変異原性を示さなかった。哺乳類の培養細胞に対して変異原性を示さなかった。哺乳類を用いた試験では、変異原性を示さなかった。この製品は、完全には試験が行われていない。これらの記述は、類似の構造もしくは、類似の組成の製品から得られたものである。

発がん性

発がん性の評価:

試験の実施は、必要ない。化学構造から、そのような有害作用はないことが示唆される。

生殖毒性

生殖毒性の評価:

試験の実施は、必要ない。化学構造から、そのような有害作用はないことが示唆される。

発生毒性

催奇形性の評価:

試験の実施は、必要ない。化学構造から、そのような有害作用はないことが示唆される。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

反復投与毒性の評価:

試験の実施は、必要ない。化学構造から、反復ばく露による特定標的臓器毒性が示唆されない。

記載物質に関する情報: メタノール

反復投与毒性の評価:

繰り返し摂取した場合、失明することがある。繰り返し吸入した場合、失明することがある。

誤えん有害性

飲み込むと有害。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生生物に対する毒性の評価:

水生生物に対して急性の有害性はほとんどないと考えられる。廃水処理施設に低濃度で適切に流入すれば、活性汚泥の分解活性を阻害しない。

製品は未試験である。記述は、加水分解生成物の特性によるものである。この製品は、pHシフトを起こさせる。

魚類に対する毒性:

LC50 (半数致死濃度) (96 h) 15,400 mg/l, ブルーギル (学名: *Lepomis macrochirus*) (魚急性試験, 流水式)

文献データ 製品は未試験である。記述は、加水分解生成物の特性によるものである。

水生無脊椎動物:

EC50 (96 h) 18,260 mg/l, オオミジンコ (学名: *Daphnia magna*) (DIN 38412 第11部, 半止水式)

文献データ 製品は未試験である。記述は、加水分解生成物の特性によるものである。

水生植物:

EC50 (96 h) 約 22,000 mg/l (成長率), 緑藻 (学名: *Pseudokirchneriella subcapitata*) (OECDテストガイドライン 201, 止水式)

文献データ 製品は未試験である。記述は、加水分解生成物の特性によるものである。

微生物/活性汚泥への影響:

EC50 (3 h) > 1,000 mg/l, 活性汚泥 (OECDテストガイドライン 209, 止水式)

文献データ 製品は未試験である。記述は、加水分解生成物の特性によるものである。

魚類に対する慢性毒性:

無影響濃度 (200 h) 7,900 mg/l, メダカ (学名: *Oryzias latipes*) (止水式)

製品は未試験である。記述は、加水分解生成物の特性によるものである。

無影響濃度 (30 日) 450 mg/l, ファットヘッドミノー (学名: *Pimephales*) (算出)

製品は未試験である。記述は、加水分解生成物の特性によるものである。

水生無脊椎動物に対する慢性毒性:

無影響濃度 (21 日), 208 mg/l, オオミジンコ (学名: *Daphnia magna*) (算出)

製品は未試験である。記述は、加水分解生成物の特性によるものである。

記載物質に関する情報: 水酸化ナトリウム

水生生物に対する毒性の評価:

濃度等の条件によっては、廃水処理施設に流入した場合に活性汚泥の分解活性を阻害する恐れがある。水生生物に対して急性の有害性はほとんどないと考えられる。

pH値により強力な影響があります。データは、この物質の分解型に関するものである。

記載物質に関する情報: メタノール

水生生物に対する毒性の評価:

水生生物に対して急性の有害性はほとんどないと考えられる。廃水処理施設に低濃度で適切に流入すれば、活性汚泥の分解活性を阻害しない。

水生生物に対して急性の有害性はほとんどないと考えられる。廃水処理施設に低濃度で適切に流入すれば、活性汚泥の分解活性を阻害しない。

記載物質に関する情報: 水酸化ナトリウム

魚類に対する毒性:

LC50 (半数致死濃度) (96 h) 125 mg/l, カダヤシ (学名: *Gambusia affinis*) (その他, 止水式)

本品は、試験系のpH値を変化させてしまうため、結果については中和していないサンプルを参照する。
文献データ

記載物質に関する情報: メタノール

魚類に対する毒性:

LC50 (半数致死濃度) (96 h) 15,400 mg/l, ブルーギル (学名: *Lepomis macrochirus*) (その他, 流水式)

記載物質に関する情報: 水酸化ナトリウム

水生無脊椎動物:

EC50 (48 h) 40.4 mg/l, ネコゼミジンコ属 (学名: *Ceriodaphnia* sp. (その他, 止水式)

文献データ

記載物質に関する情報: メタノール

水生無脊椎動物:

EC50 (48 h) 18,260 mg/l, オオミジンコ (学名: *Daphnia magna*) (OECDテストガイドライン 202-1, 半止水式)

記載物質に関する情報: メタノール

水生植物:

EC50 (96 h) 約 22,000 mg/l (成長率), 緑藻 (学名: *Selenastrum capricornutum*) (OECDテストガイドライン 201, 止水式)

記載物質に関する情報: メタノール

微生物/活性汚泥への影響:

EC50 (3 h) > 1,000 mg/l, (OECDテストガイドライン 209, 水生の)

EC50 (24 h) 880 mg/l, *Nitrosomonas* sp. (硝化抑制, 水生の)

陸生生物に対する毒性の評価:

土壌生物:

無影響濃度 (63 日) 10,000 mg/kg, シマミミズ (学名: *Eisenia foetida*) (OECDテストガイドライン 222, 人工土壌)

毒性作用の詳細は設定濃度に関係する。本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

陸生植物:

EC50 41,000 mg/l, *Lactuca sativa*

本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

無影響濃度, 陸生植物

本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

その他の陸生非哺乳動物:

データなし。

移動性**環境区分間の輸送評価:**

水面から大気中に揮発しない。

土壌の固相には吸着しないと考えられる。

残留性・分解性**除去情報:**

90 – 100 % ThOD (theoretical oxygen demand : 理論的酸素要求量) に対する BOD (20 日) (好気性, 家庭廃水由来の活性汚泥、未順化)

文献データ 本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

記載物質に関する情報 : メタノール**記載物質に関する情報 : メタノール****除去情報:**

95 % ThOD (theoretical oxygen demand : 理論的酸素要求量) に対する BOD (20 日) (OECD テストガイドライン 301D、EEC 92/69, C. 4-E) (好気性, 家庭廃水由来の活性汚泥、未順化) 生分解性良好 (OECD 基準による)

水中での安定性評価:

物質は水と接触すると急速に加水分解される。

技術的に本試験を実際に行う事は出来ない。

生体蓄積性**生体蓄積性の可能性評価:**

生体への著しい蓄積性はない。

生体蓄積性:

生物濃縮係数: 4.5 (72 h), コイ (学名 : *Cyprinus carpio*) (測定)

製品は未試験である。記述は、加水分解生成物の特性によるものである。

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 26. 03. 2025

製品: Na-Methylate Crystals

バージョン: 15.0

(30036694/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 07.10.2025

記載物質に関する情報: 水酸化ナトリウム
生体蓄積性の可能性評価:
生体蓄積性はないと考えられる。

記載物質に関する情報: メタノール
生体蓄積性の可能性評価:
生物への著しい蓄積はないと考えられる。

その他の有害作用

吸着性有機結合ハロゲン (AOX):
本製品は有機ハロゲンを含有しない。

[追加情報]

その他の環境毒性情報:
未処理で河川等に流さないこと。本品はそのPH値のために、一般に中和してから流す。廃水処理施設に低濃度で適切に流入すれば、活性汚泥の分解活性を阻害しない。廃棄および浄水処理に関する国内の法令に準拠すること。

13. 廃棄上の注意

保護具を使用して過剰の水で製品を加水分解するか、法律に従って廃棄する。
廃水処理施設に流す前に環境汚染管理当局の承諾を得ること。

[汚染された容器]:
汚染された包装から内容物を可能なかぎり取り除き、包装を完全に浄化した上でリサイクルに回すこと。

14. 輸送上の注意

国際陸上輸送:

国連番号もしくはID番号: UN 1431
品名 (国連輸送名): ナトリウムメチレート
国連分類 (輸送における危険有害性クラス): 4. 2, 8
容器等級: II
環境有害性: 非該当

使用者への特別注意事項:

海上輸送

IMDG
国連番号もしくはID番号: UN 1431

Sea transport

IMDG
UN number or ID number: UN 1431

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 26. 03. 2025

製品: Na-Methylate Crystals

バージョン: 15.0

(30036694/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 07.10.2025

品名（国連輸送名）:	ナトリウムメチレート	UN proper shipping name:	SODIUM METHYLATE
国連分類（輸送における危険有害性クラス）:	4. 2, 8	Transport hazard class(es):	4. 2, 8
容器等級:	II	Packing group:	II
環境有害性:	非該当 海洋汚染物質: 非該当	Environmental hazards:	no Marine pollutant: NO
使用者への特別注意事項:	EmS: F-A; S-L	Special precautions for user:	EmS: F-A; S-L

航空輸送

IATA/ICAO

国連番号もしくはID番号: UN 1431

品名（国連輸送名）: ナトリウムメチレート

国連分類（輸送における危険有害性クラス）: 4. 2, 8

容器等級: II

環境有害性: 環境に対する有害性の表示は必要ない

使用者への特別注意事項:

Air transport

IATA/ICAO

UN number or ID number: UN 1431

UN proper shipping name: SODIUM METHYLATE

Transport hazard class(es): 4. 2, 8

Packing group: II

Environmental hazards: No Mark as dangerous for the environment is needed

Special precautions for user:

IMO機器によるバルクの海上輸送海上のバルク輸送は目的としない。
指針番号: 138

国内輸送規制はSDSの15章を参照のこと。

Maritime transport in bulk according to IMO instruments

Maritime transport in bulk is not intended.

[追加情報]

特定の輸送に関する国内法規を遵守すること。該当法規は船積書類に記載されている。

15. 適用法令

消防法: 非危険物, 指定可燃物・可燃性固体類

ソジウムメチラート

労働安全衛生法

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 26. 03. 2025

製品: Na-Methylate Crystals

バージョン: 15.0

(30036694/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 07.10.2025

通知対象物

ソジウムメチラート

労働安全衛生法

表示対象物

船舶安全法

可燃性物質類 (JP)

該当物質

メタノール

労働安全衛生法

通知対象物

メタノール

労働安全衛生法

表示対象物

皮膚等障害化学物質等 (労働安全衛生規則第594条の2)

ソジウムメチラート

メタノール

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

Marine Pollution Prevention Law (JP)

係数: 25

Y 類物質

もし、有害液体物質が、タンク洗浄もしくはバラスト排出により海に排出されるなら、有害液体物質は、海洋資源や人健康に災害を及ぼしたり、動物や海のその他の合法的使用に害を及ぼすと見なされる。従って、海洋環境への排出の質と量の制限は正当なことである。

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

Marine Pollution Prevention Law (JP)

任意の濃度に適用:

Y 類物質

もし、有害液体物質が、タンク洗浄もしくはバラスト排出により海に排出されるなら、有害液体物質は、海洋資源や人健康に災害を及ぼしたり、動物や海のその他の合法的使用に害を及ぼすと見なされる。従って、海洋環境への排出の質と量の制限は正当なことである。

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

Marine Pollution Prevention Law (Ministerial Ord.) Data (JP)

係数: 25

Y 類物質

もし、有害液体物質が、タンク洗浄もしくはバラスト排出により海に排出されるなら、有害液体物質は、海洋資源や人健康に災害を及ぼしたり、動物や海のその他の合法的使用に害を及ぼすと見なされる。従って、海洋環境への排出の質と量の制限は正当なことである。

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 26. 03. 2025

製品: Na-Methylate Crystals

バージョン: 15.0

(30036694/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 07.10.2025

その他の規則

もしも、このSDSの他の章に記載されていない法的情報がある場合には、この章に記載されます。

16. その他の情報

【JIS Z 7252/7253 : 2019準拠】 本SDSに記載されていない必要項目は、情報が無いことを示す。

本SDSにおいて労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます。

左余白の縦線は前バージョンからの改訂部分を示す。

本安全データシートに含まれるデータは、当社の最新の知識及び経験に基づいて製品を安全性基準の観点からのみ説明するものであり、製品の特性（製品規格）を説明するものではありません。また、当該製品が特定の目的に適した性能・特性を有しているか否かを判断するためのものでもありません。本製品の使用者は自己の責任において製品に関わる特許等の所有権を尊重し現行の法律及び規則を遵守して下さい。